

古賀市におけるDX推進の 現状と展望

2023/5/18 地域×Tech九州
福岡県 古賀市長 田辺 一城



- ☑ 古賀市の魅力と地域資源
- ☑ 「アナログ規制見直し」モデル自治体
- ☑ デジタル田園都市国家構想
 - ・ AIオンデマンドバス「のるーと古賀」
 - ・ インキュベーション施設「快生館」
- ☑ 公民連携
 - ・ 「GX×DX」推進（OZCaF・(株)ピエトロ）
 - ・ 仮名加工情報の活用（福岡工業大学）
 - ・ ビッグデータの活用（(株)グルーヴノーツ）
 - ・ 行政DX連携協定（凸版印刷(株)）

自然 × 利便性 × 産業力



◆自然に恵まれたまち

古賀市は、東側に緑豊かな山々、西側には白砂青松の美しい海岸線、市内のいたるところを川が流れる自然豊かなまちです。

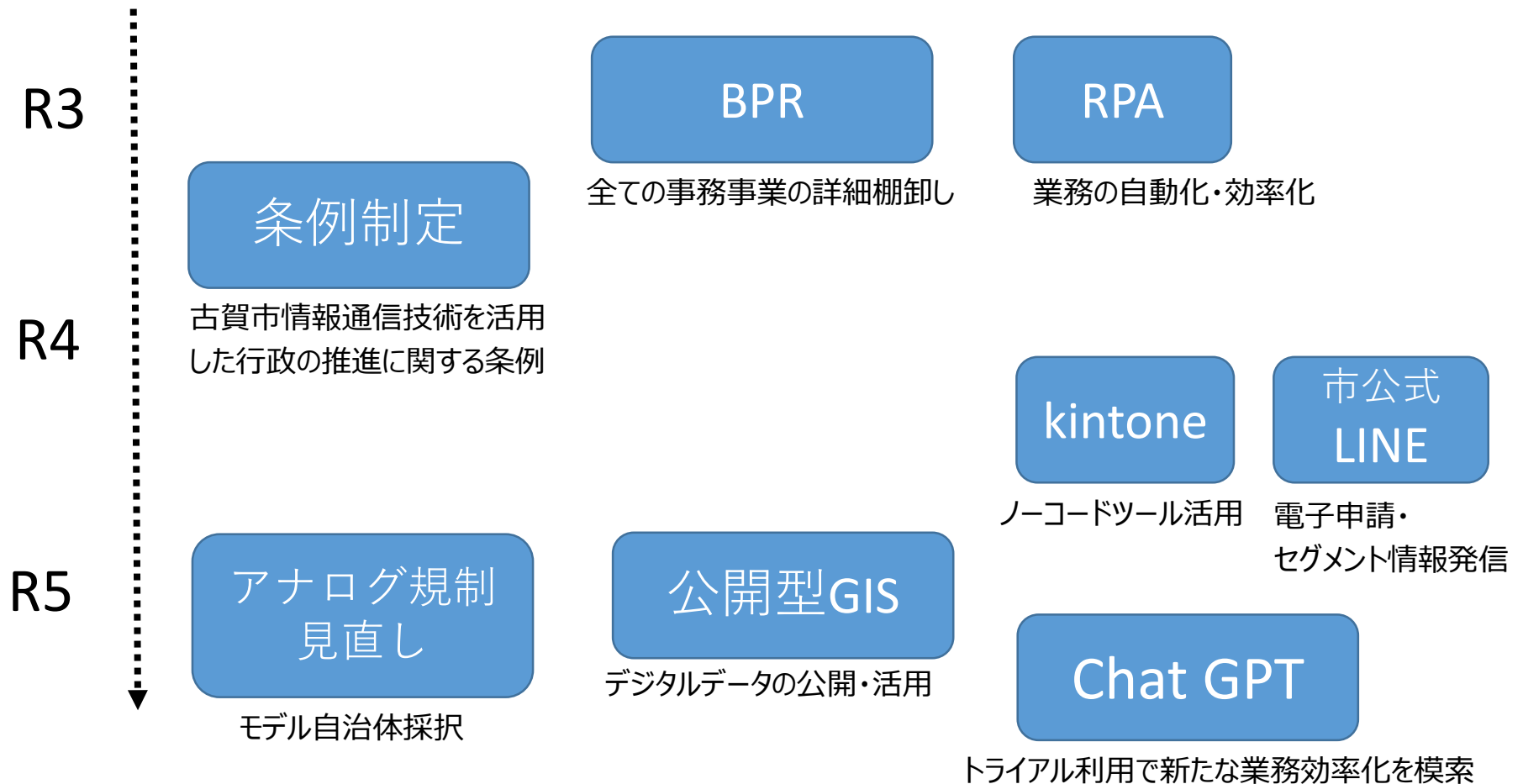
◆交通や情報のアクセスに恵まれたまち

九州最大の都市「福岡市」に隣接し、JR鹿児島本線、国道3号線、九州自動車道古賀インターなど交通や情報のアクセスに恵まれたまちです。

◆特産品

- ・山見坂ネーブル
- ・博多あまおう
- ・花鶴饅頭
- ・清酒 大観
- ・古賀市ブランド「焦がし商品」
- ・ニビシ醤油
- ・ピエトロドレッシング 等

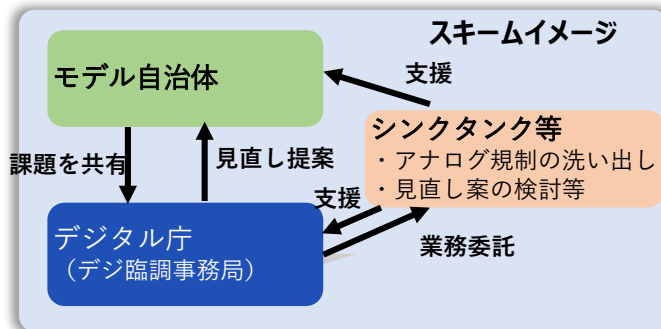
自治体業務の効率化に向けた取組の経緯



地方公共団体におけるアナログ規制の見直しに係る課題調査について

事業概要

- 全国から公募したモデル自治体の条例・規則等を点検し、特に見直しの効果が見込まれるアナログ規制を抽出
- 国の法令の見直し状況も踏まえて見直し案を検討
- 併せて、導入可能な技術の検討や、技術代替した場合に期待される効果等を整理



⇒ **地方公共団体におけるデジタル改革のモデルケースを創出し、全国の取組を促進**

検討対象のイメージ

◎ 対象とする業務分野の例

モデル自治体の意向を聴取した上、当該団体において**見直しのニーズが高い業務分野を重点的に分析**

- 消防・防災
- 医療・福祉・健康
- 子育て
- 環境
- 農林水産業
- 土木・インフラ

※ 条例・規則に加え、要綱・要領・通知・ガイドライン等も対象とする。

モデル自治体の公募・選定

- ・ 令和5年2月24日～3月17日にかけて、全国の地方公共団体（都道府県、政令市、一般市町村）を対象にモデル自治体の公募を実施

採択結果

北海道、埼玉県、香川県、宮崎県、相模原市、町田市、国分寺市、平塚市、川西市、高松市、坂出市、さぬき市、古賀市

※ 既に独自に見直しの取組に着手している先行団体（大分県、福岡市）にも、別途、オブザーバとしての協力を依頼

⇒ 計15団体と連携し、令和5年4月以降、調査開始

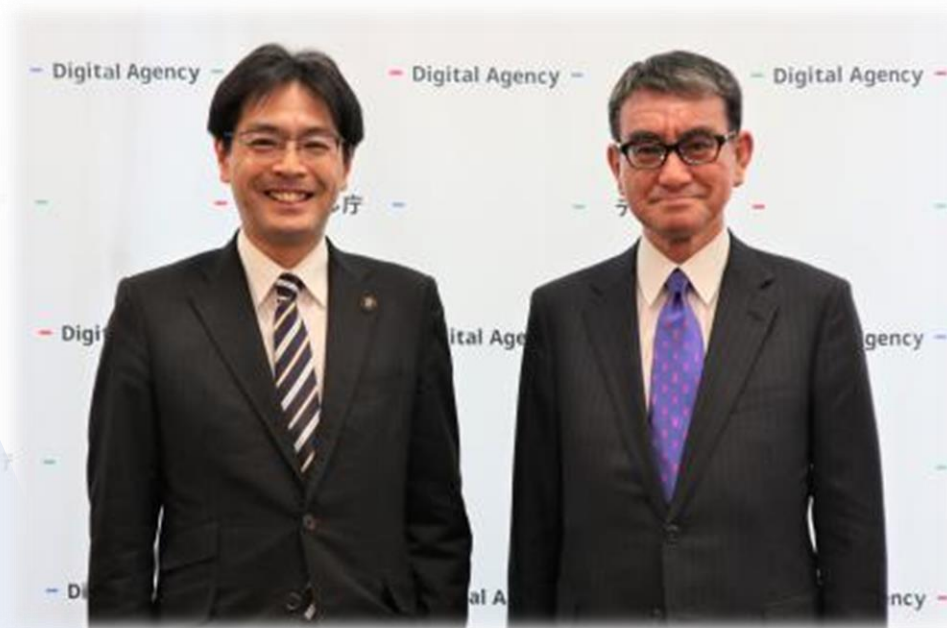
調査・検討の結果は、「地方公共団体におけるアナログ規制の点検・見直しマニュアル」（令和4年11月18日）の改訂などにより、全国の地方公共団体に共有

今後のスケジュール

- **令和5年3月** モデル自治体の公募、採択団体発表
- **令和5年4月以降** 受託事業者決定（業務委託）、調査スタート
※ 先進的な取組については、適宜、共創PF等を通じ全国に共有
- **令和5年12月頃**
「地方公共団体におけるアナログ規制の点検・見直しマニュアル」の改訂

全国の地方公共団体における取組を促進・支援

令和5年4月24日
河野太郎デジタル担当大臣に面会。
アナログ規制見直しに取り組む方針
と共に、これからご紹介する古賀市
のデジタル推進状況を説明しました。
大臣からは引き続き積極的に取り
組み、地方自治体におけるデジタル
推進の機運を高めてほしいとの激
励をいただきました。



デジタル田園都市国家構想交付金を活用①

AIオンデマンドバス「のるーと古賀」を導入！

地域の移動ニーズにきめ細かに対応 × 運行経路・時間の最適化



利用者の希望に応じてAIが最適な運行ルートを考えながら運行
 (※利用が進むことでAIが学習し、さらに効率的に！！)

導入地域

- ・花鶴丘、日吉台、鹿部（一定の人口密度と規模があり、市平均と比較して高齢化率が高く、地域内に高低差のある区域）



デジタル田園都市国家構想交付金を活用②

温泉旅館を改装した **インキュベーション施設「快生館」**

1 F コワーキングスペース



2 F サテライトオフィス



2 F フリースペース



3 F フリースペース



温泉



外観・ウッドテラス



※その他、1 F 宿泊スペースもあり（ 企業合宿・ワーケーションの問合せ急増中！ ）

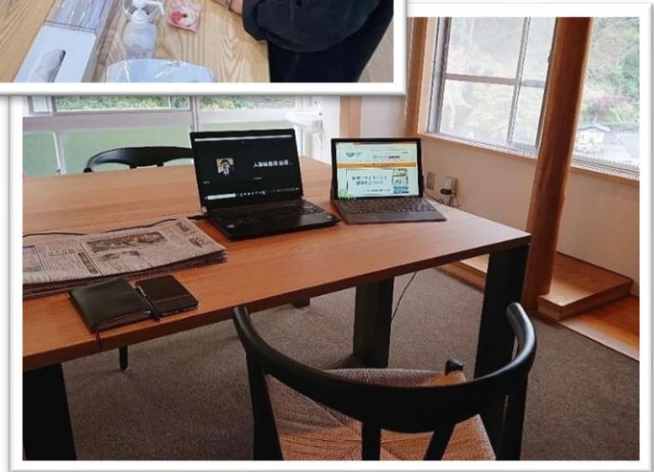
地域内外の方と一緒に 人が集う **"共創の仕掛けづくり"** を

事業関係者や進出企業その他、地域内外の事業者や住民を巻き込んだ
プロジェクトやイベントを実施しています。



チャレンジする人が集い つながり 掛け合わさることで 快く生きる場に

さまざまな人の交わりにより**コミュニティ**を創出し
人と人のつながりにより課題解決をめざします



※大手IT企業のサテライトオフィス進出も実現しました！！

公民連携①

「GX×DX」 (OZCaF・(株)ピエトロ)

脱炭素社会へのキーワードは「オール古賀」「GX×DX」

行政である古賀市はもちろん、市民や学校、企業、団体など

誰一人取り残さず全員で連携して脱炭素社会の実現へ。

「GX」の推進は、「DX」と密接に連動することで相乗効果が生まれる。

☑ OZCaFと包括連携協定を締結



令和5年2月6日

「一般社団法人 OSAKAゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーション(OZCaF)」と包括連携協定を締結。

古賀市と一般社団法人 OSAKA ゼロカーボン・スマートシティ・ファウンデーションとの包括連携協定締結式

包括的な連携をもとに協働によって互いの資源や知見を有効に活用し、地域活性化及び住民サービスの向上を図ることを目的としている。

【協定項目】

- ・ゼロカーボンシティの実現に関すること
- ・公民連携プラットフォームづくり及び、企業・大学等との連携強化に関すること
- ・スマートシティに関すること
- ・その他、両地域の成長・発展に資すること



☑ 「企業連携」という課題への取組 ①

CO2排出量の見える化を糸口に企業との公民連携を促進

脱炭素に向けた取組のスタートラインは、
自社で「どれくらいCO2を排出しているか」を知ること。

令和4年12月より、株式会社ピエトロにおいて
「CO2排出量の見える化システム」を試行。

※試行の結果は企業向け脱炭素セミナー(R5新規事業)で報告予定。

市内企業を対象にした令和5年度以降の新規事業として
エネルギーとCO2排出量の見える化実証事業へ展開していく。

令和4年12月5日

「株式会社ピエトロ」と包括連携協定を締結。

ピエトロでは環境に特化したプロジェクトチームが発足しており、「食育」や「環境問題」など様々な分野で連携し取り組みを進めていく。



公民連携②

仮名加工情報を用いたデータサイエンス（福岡工業大学）

仮名加工情報を用いたデータサイエンスに関する連携協定締結式（R4.11）



新設

仮名加工情報

仮名加工情報とは、他の情報と照合しない限り、特定の個人を識別できないように個人情報を加工して得られる個人に関する情報。加工により一定の安全性を確保しつつ、匿名加工情報よりもデータの有用性を保ち、詳細な分析を実施し得るもの。

■「仮名加工情報」に変換すれば、以下の義務は適用から除外する。

- ① 利用目的の変更の制限
※内部での分析・利用であること等を条件に、新たな目的で利用可能
- ② 漏えい等の報告・本人への通知
- ③ 開示・利用停止等の請求対応

MEMO

匿名加工情報とは、特定の個人を識別することができず、加工元の個人情報を復元することができないように加工された個人に関する情報。

■ 作成元の「個人情報」は残したまま、これまで通り利用可能

注意) 仮名加工情報を、他の情報と照合して、作成元の「個人情報」に係る本人を識別することは禁止

仮名加工情報の作成例

個人情報

氏名	年齢	年月日	時刻	金額	旅券番号	店舗	クレジットカード番号
山田一郎	55歳	20XX-04-02	09:50	940円	TH012	露ヶ関店	5567 2356 ...
佐藤次郎	29歳	20XX-05-29	15:10	1220円	TY560	赤坂見附店	4787 9877 ...
伊藤三郎	45歳	20XX-11-14	21:34	670円	TY390	赤坂見附店	1445 7564 ...
...							

仮名加工情報

YH2356	55歳	20XX-04-02	09:50	940円		露ヶ関店	
YD4890	29歳	20XX-05-29	15:10	1220円		赤坂見附店	
XJ3375	45歳	20XX-11-14	21:34	670円		赤坂見附店	
...							

● 個人情報に含まれる個人識別符号の全部を削除又は置換
例) 旅券番号の削除

● 不正に利用されることにより財産的被害が生じるおそれのある記述等の削除又は置換
例) クレジットカード番号の削除

● 特定の個人を識別することができる記述等の全部又は一部の削除又は置換
例) 氏名などを仮IDに置換

※置換…復元することのできる規則性を有しない方法により、他の記述等に置き換えること

データサイエンス連携協定のねらい

- 機械学習などによる新たな気づき
→ 社会課題解決
- データドリブン型経営への転換
→ 予算、人的・物的資源の適正配分
- scikit-learnなど充実した機械学習ライブラリ
→ 理工系学生なら容易に習得可能
- 実データを用いた演習・研究機会の提供
→ PBL(課題解決型学習)で利用
優秀なAI人材育成に

公民連携③

データを活用した政策立案等の推進に関する協定締結

古賀市



(株)グルーヴノーツ

- ・量子コンピュータやAI（人工知能）など先端テクノロジーを活用したデータ活用

連携によりめざす取組

- ・データを活用した政策立案など行政事務の効率化・高度化
- ・データを政策の立案や検証に活かせる人材の育成
- ・テクノロジー教育の支援などによる市民サービスの向上
- ・ウェルビーイング指標の利活用に向けた研究



公民連携④

行政DX推進協定（凸版印刷株式会社）

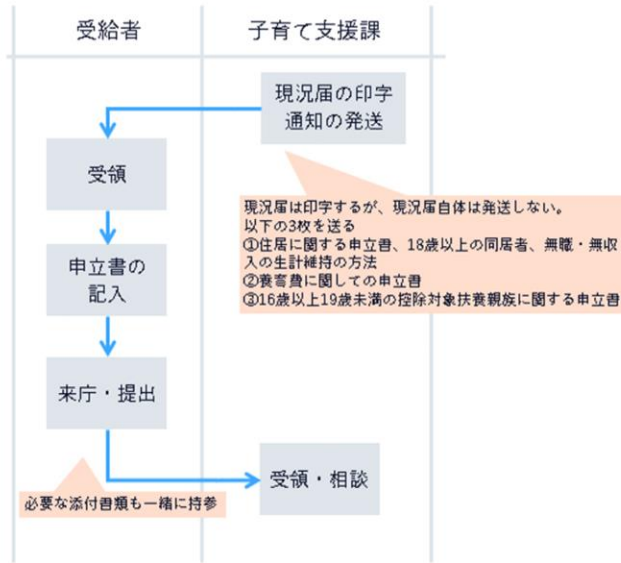
行政DX推進協定締結式（R4.04）



古賀市の場合のフロー(現状)

ポイント:

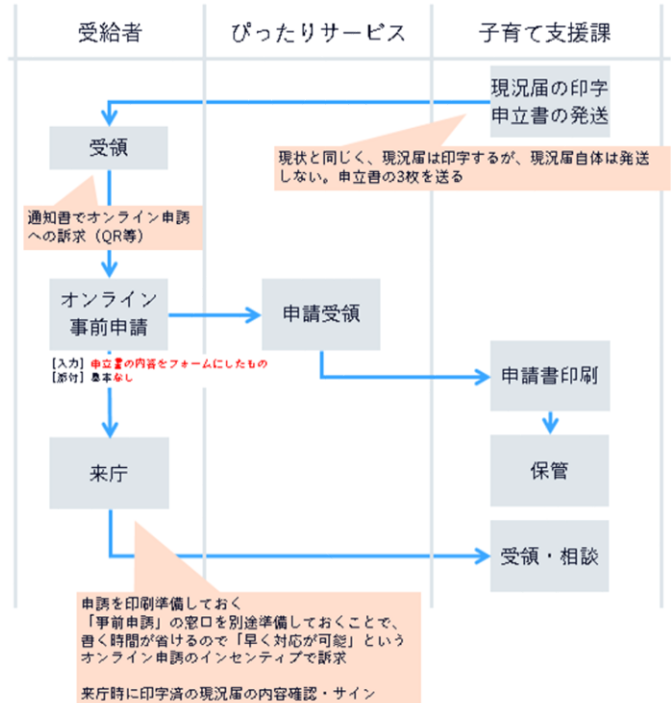
- ・現況届を住民に送らない。
- ・8/1~31の間で、1週間、ひとり親子ども医療費助成の現況届と合同の会場を開催する
- ・その1週間ですべて(600人弱)の約7割が来る



古賀市の場合のフロー(ぴったり)

ポイント:

- ・現況届そのものをオンラインで記載させない
[理由]
・そもそも送っていない
- ・変更がなければサインのみで良いものにおいて全記載させるのは住民に負荷
- ・住民が記載したとして、それが変更か誤記かの確認で担当課の負担になる
- ・現況届以外の3枚の資料を申請フォームで記載させる。



ひと育つ
こが育つ

人がまちを支え
まちが産業を支え
産業が人を支え
みんなが育つ
未来に向かって育ち続けるまち

未来への責任

将来世代によりよい社会を継承するためには
限りある地域資源を最大限有効に活用し、
持続可能な自治体運営を図る必要があります。

古賀市はこれからも **“連携”** を意識しつつ

DX推進 を図ります!!